

小久保まい（ユーフォニアム）2nd アルバム「巫女の舞」11月25日リリース
ご予約・ご購入特典として保科洋の新曲「秋の木の葉」楽譜プレゼント*

第29回日本管打楽器コンクール・ユーフォニアム部門最高位に輝き、世界で活躍するユーフォニアム奏者の小久保まいが、日本吹奏楽界の巨匠・保科洋と新星・芳賀傑の新曲を含む2ndアルバム「巫女の舞」を、コスミック・レーベル（日本ウエストミンスター株式会社）より2020年11月25日にリリースします。

30年以上前に日本を代表するユーフォニアム奏者・三浦徹によって初演され、ユーフォニアム界に衝撃をもたらした保科洋「ユーフォニアムのための幻想曲」をはじめ、原曲はホルンの協奏曲ながら本CDを記念してユーフォニアムのために改作された表題作の「巫女の舞」、小久保の委嘱により新たに生み出された「秋の木の葉」と、芳賀傑の「ユーフォニアム協奏曲」という、演奏家と作曲家との強力なタッグによって生まれたCDです。さらに、小久保たっての希望により、作曲者の二人がみずからレコーディング現場に立ち会い、音楽アドバイザーをつとめる異色の1枚となりました。

収録ホールには日本木管コンクールの開催ホールとして知られ、中規模ホールとしては世界有数の響きを誇る兵庫県の加東市東条文化会館コスミックホールを使用。レコーディングエンジニアとしてタイムマシン・レコードを主宰する五島昭彦を迎え、五島の師匠であり金田式DCアンプの開発者として知られる金田明彦がコスミックホールの響きを生かすべく特別に開発した最新の金田式DC録音システムを用いて、小久保のめざす深みのあるフォルテから真綿のようなピアノシモ、消えゆく音の繊細なニュアンスまでを音のタイムカプセルのように忠実に収録しました。ブックレットには曲紹介のほか三浦徹、ブライアン・ポーマン、保科洋のエッセイを日本語・英語併記で収録し、国内外のユーフォニアムファンにお楽しみいただける内容となっています。



今回のリリースを記念し、「巫女の舞」を全国のCD販売店、オンラインショップにてご予約およびご購入頂いたお客様に、特典として保科洋作曲「秋の木の葉」のピアノスコア&パート譜セット（非売品）をプレゼントいたします*。

* 特典は無くなり次第終了となります。特典をご希望のお客様は早めのご予約をおすすめいたします。

* 一部お取り扱いのない店舗もございます。特典の有無の詳細は各店舗までお問い合わせ下さい。

《収録曲》

保科洋／ユーフォニアムのための幻想曲

保科洋／秋の木の葉

保科洋／巫女の舞

芳賀傑／ユーフォニアム協奏曲

成田為三（芳賀傑編曲）／浜辺の歌

《販売情報》

JXCC-1121 定価¥3,000+税

販売元:コロムビア・マーケティング株式会社

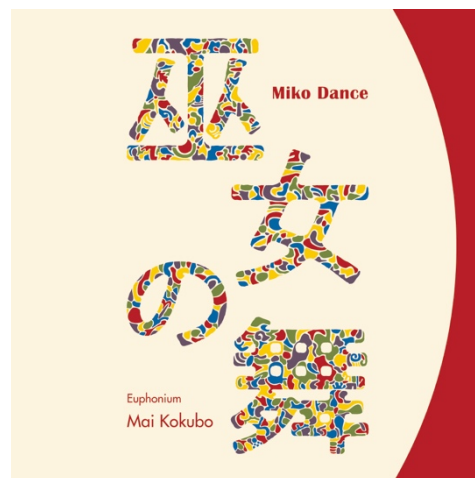
発売元:日本ウエストミンスター株式会社

《お問い合わせ先》

日本ウエストミンスター株式会社（TEL 03-3989-1678, FAX 03-3989-1672, <https://nihon-westminster.com>）

E-mail: office@nihon-westminster.com（高解像度の写真がご入用の場合はこちらにご連絡ください）

ウェブ版プレスリリース: <https://nihon-westminster.com/category/press/>



《プロフィール》

小久保まい（ユーフォニアム）

浜松市立高等学校、国立音楽大学 器楽科(ユーフォニアム)を2006年に卒業後、渡米。ノーステキサス大学大学院 演奏研究科 (ユーフォニアム)を2010年に修了。

2012年日本管打楽器コンクールユーフォニアム部門最高位(1位なし2位)を受賞。2014年1月すみだトリフォニー小ホールにて初のソロリサイタルを開催。2015年初のCD「不思議の国の戦争(ブレン株式会社)」発売記念ツアーとして、東京、静岡、大阪、京都にてリサイタルを開催し好評を博した。同CDはレコード芸術誌準特選盤に選出、国際チューバ・ユーフォニアム協会のCD賞、Roger Bobo Awards 2016としてノミネートされた。

2014年、16年、19年に国際ユーフォニアムチューバ会議 (ITEC) のゲストアーティストとして招聘され、朗らかな人柄と繊細かつ深みのある演奏で、全世界から集結した観客を魅了した。

2020年2月、本CD収録の邦人作品をメインとしたソロリサイタルを東京文化会館小ホールにて開催し絶賛される。これまでにユーフォニアムを、ブライアン・ポーマン、三浦徹、露木薫の各氏に師事。

稲垣満有子（ピアノ）

静岡県立浜松江之島高等学校芸術科音楽を経て、常葉大学短期大学部音楽科卒業、同短大部専攻科音楽専攻修了。持ち前のアンサンブル力の高さから在学中より伴奏依頼が絶えず、オーケストラで使用される楽器のほとんどとアンサンブル経験を積み、そのレパートリーは映画音楽やポピュラー音楽までを幅広くカバー。多くのステージやコンクールでチャンスをつかむ他、推薦を受けて渡独、シュトゥットガルト音楽大学のマスタークラスで H.P.シュテンツェル氏の教えを受け、また、S.D.エリリ氏指揮による東京国際芸術協会管弦楽団とブラームスのピアノ協奏曲を共演する機会を得た。

2019年に国際チューバ・ユーフォニアム会議 (ITEC) に小久保まいの伴奏ピアニストとして参加。保科洋「秋の木の葉」、芳賀傑「ユーフォニアム協奏曲 第1楽章」を世界初演、ピアノの難易度の高いレパートリーを弾き切り、好評を博す。これまでに伊藤京子、入川美智子、高瀬健一郎の各氏に師事。

